



季節の変わり目が曖昧になっているように感じますが、道端に目を向けると草木や花々の彩が鮮やかとなり、春から夏へ段々と変化してきていることを実感できます。田畑でも人々が田植えや播種の準備を行っている姿をあちらこちらで目にするようになりました。冬の間は休館していた植物と人々の博物館も再開しています。森とむらの図書室を充実させました(蔵書リスト:<https://www.milletimplic.net/forestvil/forestvil.html>)。連携しているタイ・日本自然クラブの展示も再開しています。ご訪問・ご利用頂き、お時間の許す範囲で整理も一緒に手伝っていただければありがたいです。数人でまとまって整備と資料の共有を行う作業日を新たに設けていますので(写真)、ご興味・ご関心のある方は事務局までお問い合わせ下さい。

民族植物学ノート第 18 号を 3 月末に発行しました。ホームページ上で「ミュージアムグッズ」から閲覧ください。第 19 号は 2025 年 12 月末の原稿締切です。バックナンバーもご参照いただき、ぜひ自由な発想や見解で、原稿をお寄せください。

【連携団体からのお知らせ(注:会期を終えたイベントも含みます)】

・ざっくくのふしぎ展(東北大学統合日本学センター)

<https://cijs.oii.tohoku.ac.jp/news/detail---id-52.html>

・田んぼのイロハ田植え編(ECOPLUS) https://ecoplus.jp/2025/02/07/rice_workshop_2025/

・オンライン学習会:不自然な食べ物ー完全食・超加工食品など(OK シード・プロジェクト)

<https://v3.okseed.jp/event/6062>

・はけと野川の文化祭(はけの自然と文化をまもる会) <http://hake-bun.blogspot.com/>



タイの民具整理の様子(4/28 中込代表理事、中込副代表理事)